

取付説明書

コンセプタ SUG

垂直収納金物 組立済セット

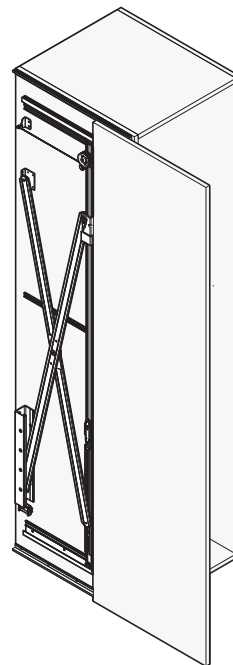
このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 開いた扉を垂直に収納し、スペースを有効に活用できる金物です。
- 扉閉時と扉収納時にダンパーが利きます。
- 金具はキャビネットの中帆立（仕様により側板）の外側に取付けます。
- 主要部品が組立済みのため、短時間で取り付けることができます。

取り付けできる扉

扉幅	300 ~ 750 mm
扉高さ	1950 ~ 2300 mm
扉厚	19 ~ 22 mm
扉質量（1枚当り）	18 ~ 35 kg 以下
最大引込量	750 mm



正しく安全に取り付けていただくために

 警告・注意  禁止  厳守

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



- 本製品の取付工事は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。取付けに不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度のキャビネットを製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。



- 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

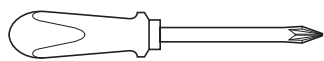
注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。




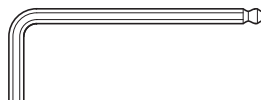
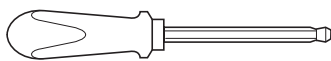
- 各部の調整には、必ず手回しのドライバーを使ってください。電動ドライバーなどを使用すると、部品が変形・破損するおそれがあります。
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。板の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- 本製品は家具を構成するための部品です。取付終了後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ家具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。
- 本製品を取り付けたキャビネットを移動する場合は、必ず扉を外してください。
- 本製品を取り付けるキャビネットの背板は壁に固定してください。

必要な工具

・Z型プラスドライバー  PZ2



・六角レンチ  3
ボールポイント式
ロングタイプをおすすめします。



・金属用のこぎり
(アルミ材を切ります)



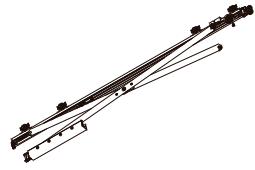
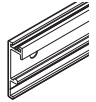

・カッター



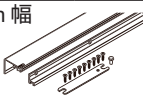
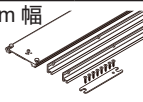
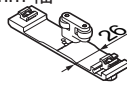
留意点

- ・本書は左吊元仕様で説明しています。
- ・ガイドレール等の製品を取り付ける中帆立（仕様により側板・キャビネット）はメンテナンスができるよう、取り外せる構造にしてください。
- ・製品が支障なく動くよう、機構部品取付面や扉の反り、ねじれを 2mm 以内にしてください。

部品構成

No	部 品	品番	数量	
			左用 30315SUG	右用 30316SUG
①	クロスアームセット 左吊元 	30347	1	—
	クロスアームセット 右吊元 	30348	—	1
②	上ガイドレール 896mm 	24528	1	1
③	下ガイドレール 896mm 	24535	1	1
④	ガイドバー 860mm 	22861	1	1
⑤	ストッパー A(左上 / 右下用) 	27657	1	1
⑥	ストッパー B(右上 / 左下用) 	27658	1	1
⑦	カバープレート 	24739	1	1
⑧	リアブラケット 	25855	1	1
⑨	引込みワイヤー用フック 	25836	1	1

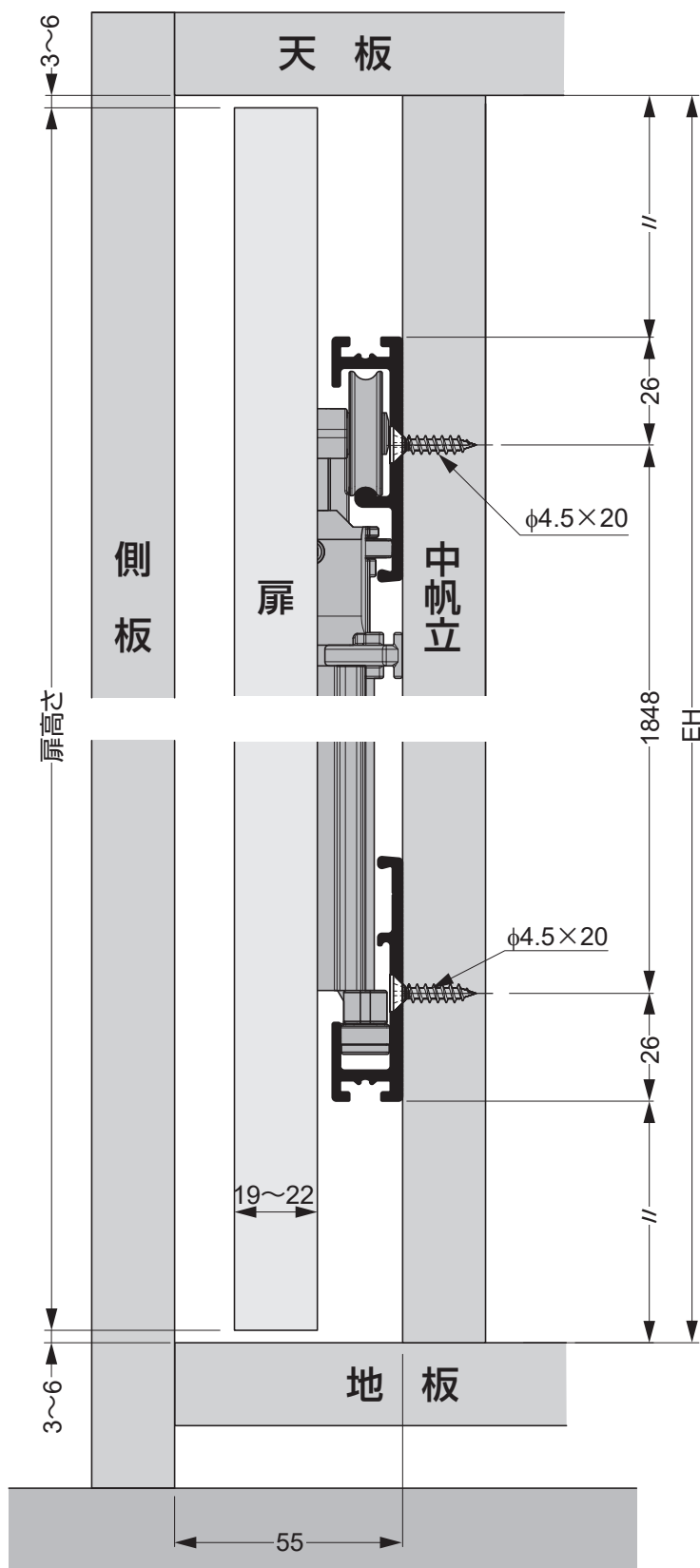
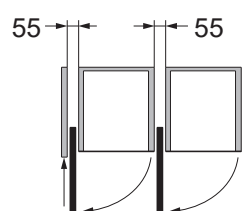
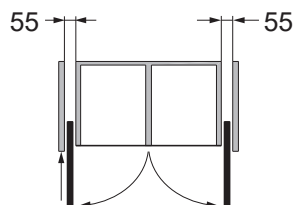
No	部 品	品番	数量	
			左用 30315SUG	右用 30316SUG
⑩	ブラシ 	24705	1	1
⑪	ブラシベース 	30303	2	2
⑫	ブラシクランプ 	27503	5	5
⑬	皿タッピンねじ 4 × 16 	25935	10	10
⑭	なべタッピンねじ 4 × 16 	25562	7	7
⑮	皿タッピンねじ 4.5 × 20 	22451	22	22
⑯	六角レンチ呼び 3 ボールポイント式 	13164	1	1
⑰	取付治具 (ストッパー)  使用しません	25816	1	1

No.	部 品	全長	品番
⑱	連結ブラケット 55mm 幅 (P.5 参照) 	650mm	30351
⑲	連結ブラケット 110mm 幅 (P.6 参照) 	650mm	30352
⑳	連結ガイドローラー 110mm 幅 (⑱と併用、P.6 参照) 	—	23225

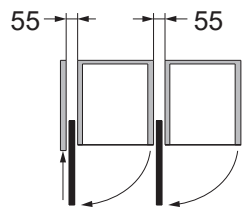
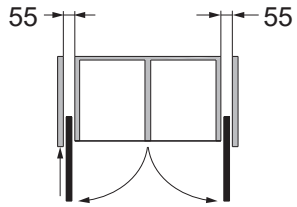
キャビネット内に扉を収納する仕様

注意

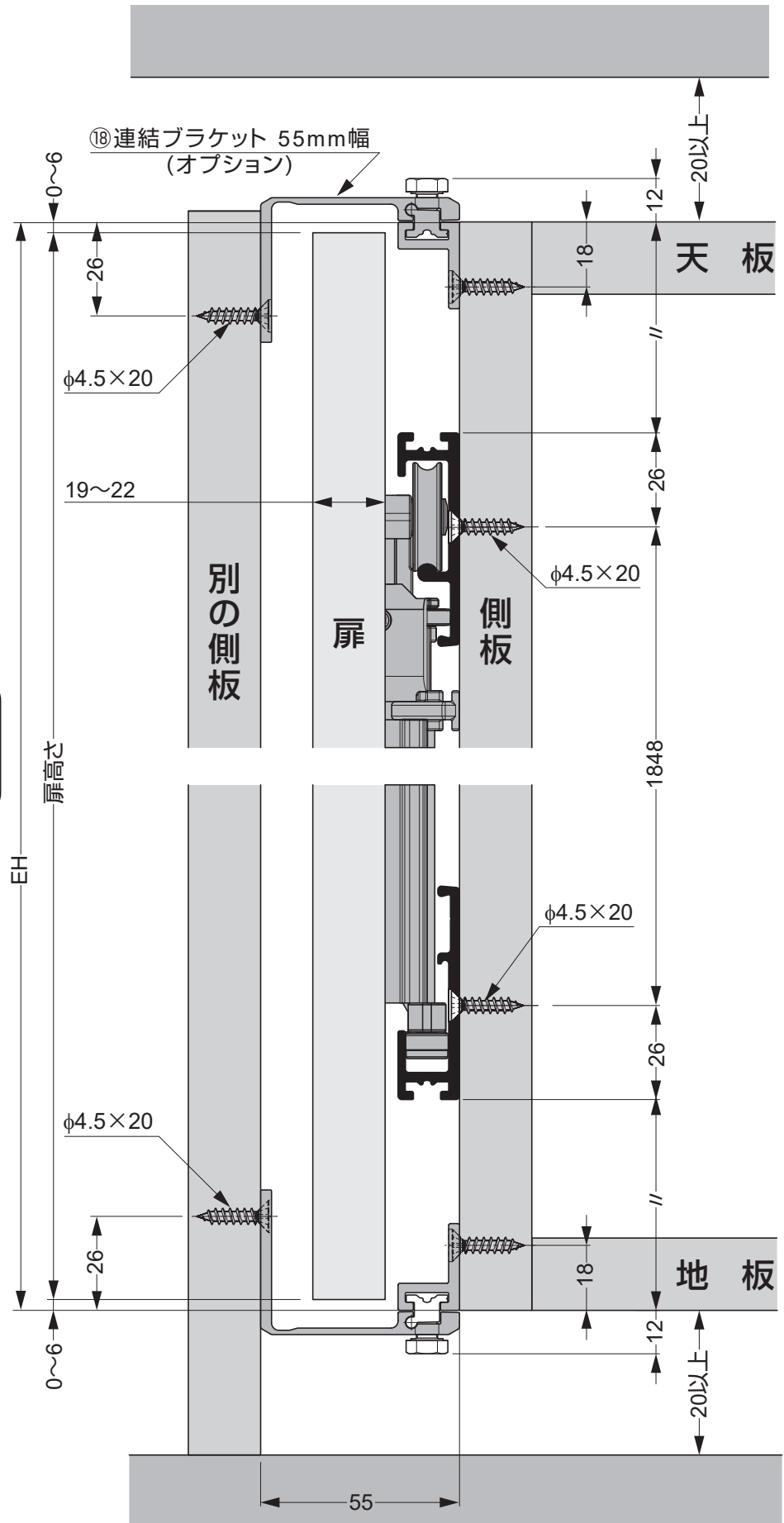
❗ 中帆立はメンテナンスできるように、取り外せる構造にしてください。



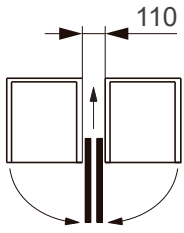
側面外側をキャビネットとは別の側板で覆う仕様



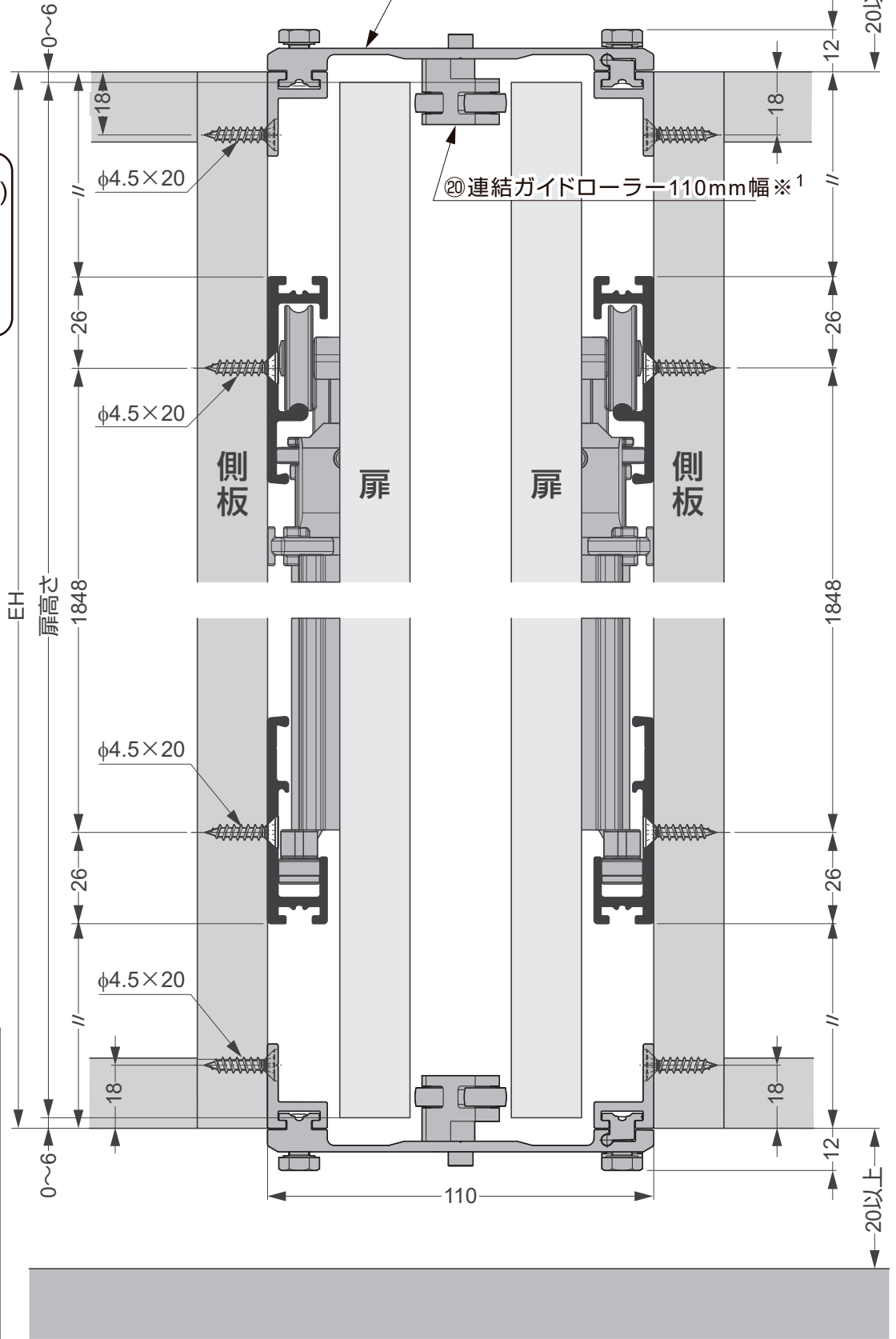
注意
 別の側板はメンテナンスできるように、取り外せる構造にしてください。



隣同士のキャビネットを連結する仕様



①⑨ 連結ブラケット 110mm幅※¹
(オプション)

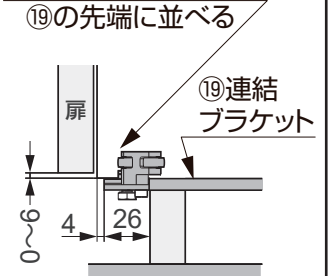


注意

❗ 側板(キャビネット)はメンテナンスできるように、取り外せる構造にしてください。

※¹オプションについて
側板の上側、下側に取り付ける

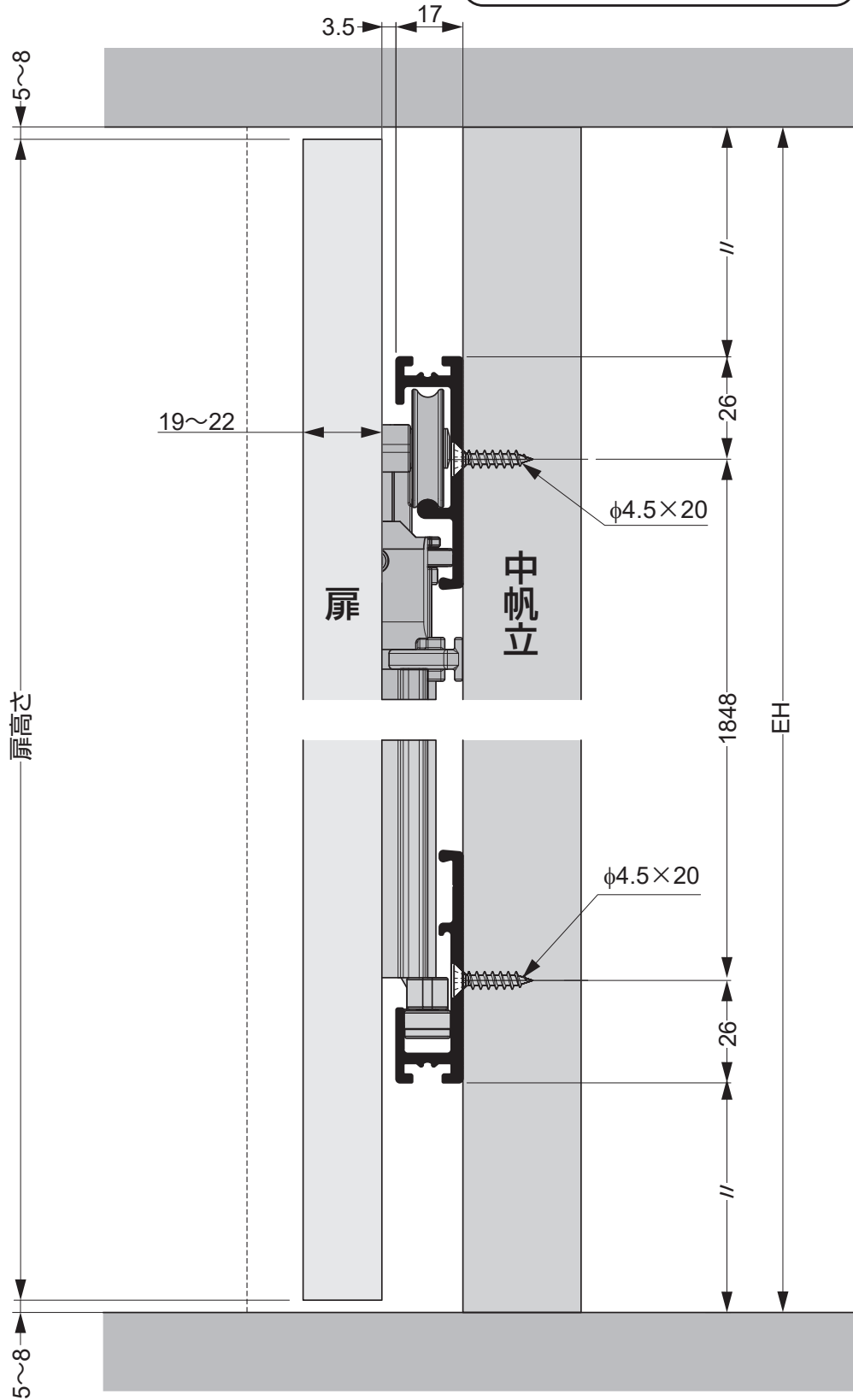
②⑩ 連結ガイドローラー
①⑨の先端に並べる

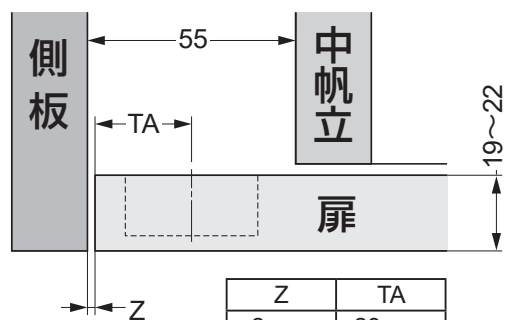
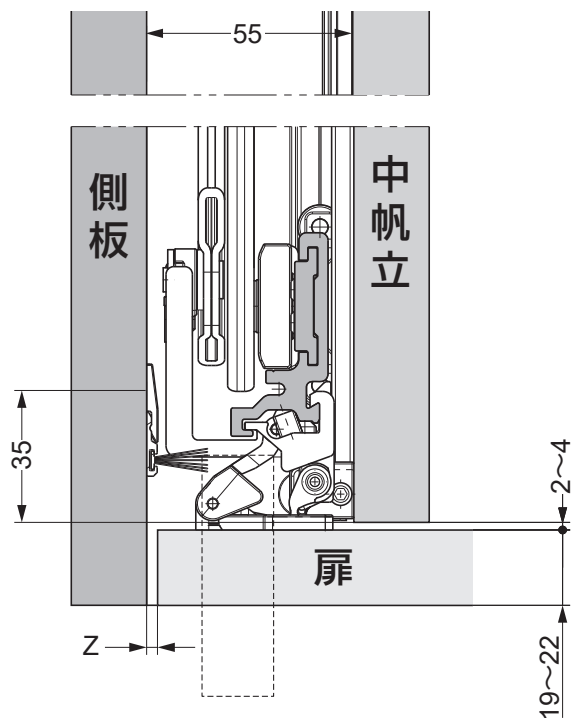


建築空間に直接取り付ける仕様

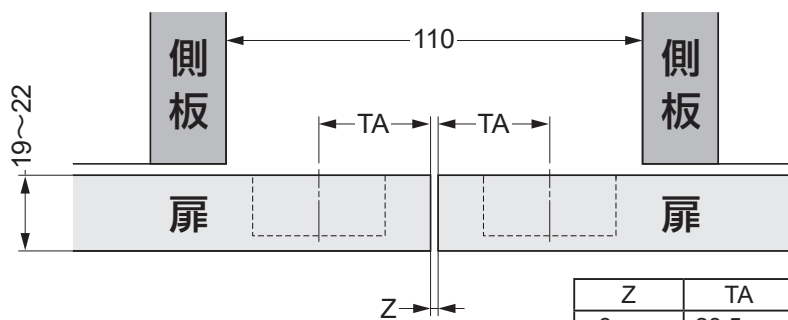
⚠ 注意

❗ 中帆立はメンテナンスできるように、取り外せる構造にしてください。



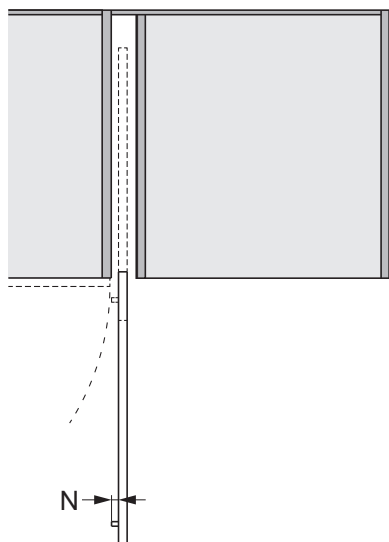


Z	TA
2 mm	28 mm
3 mm	27 mm
4 mm	26 mm
5 mm	25 mm



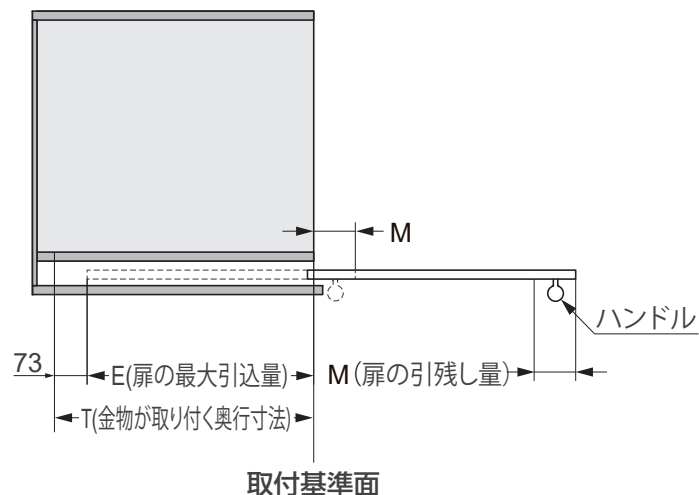
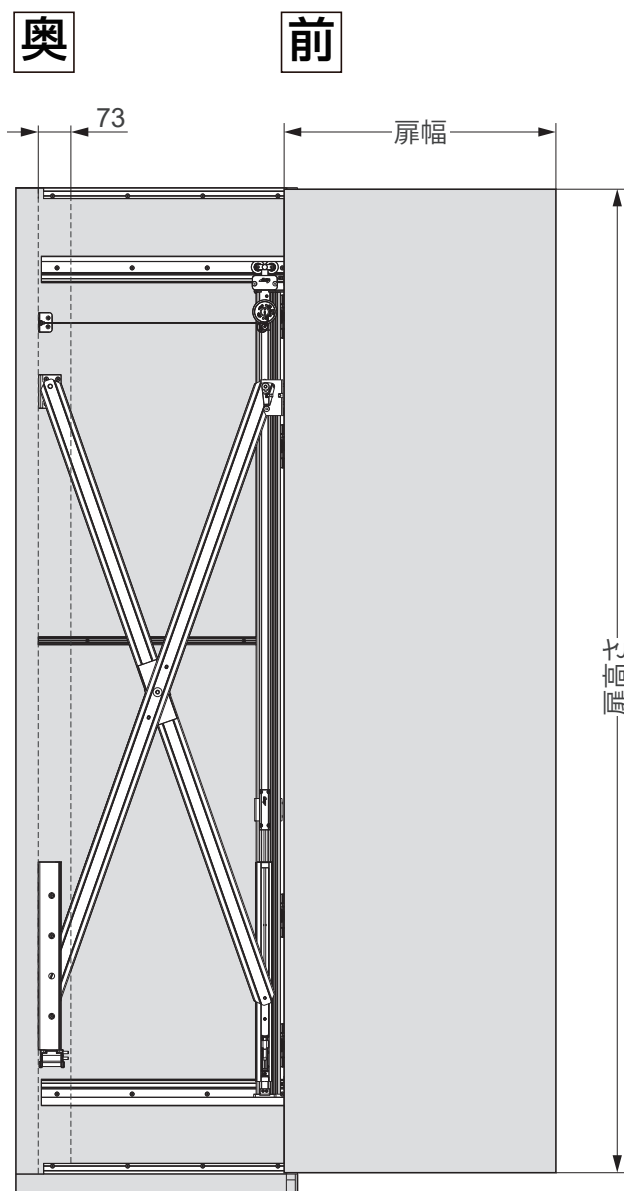
Z	TA
3 mm	28.5 mm
4 mm	28 mm
5 mm	27.5 mm
6 mm	27 mm

別の開き戸に隣接する場合のハンドル制限寸法



厚扉	N
19 mm	13.5 mm
22 mm 以下	10 mm

扉の大きさ、質量の目安



$$T = \text{扉幅} - M + 73$$

$$E = T - 73$$

扉高さ	T	E
1950 ~ 2300 mm	823 mm 以下	750 mm 以下

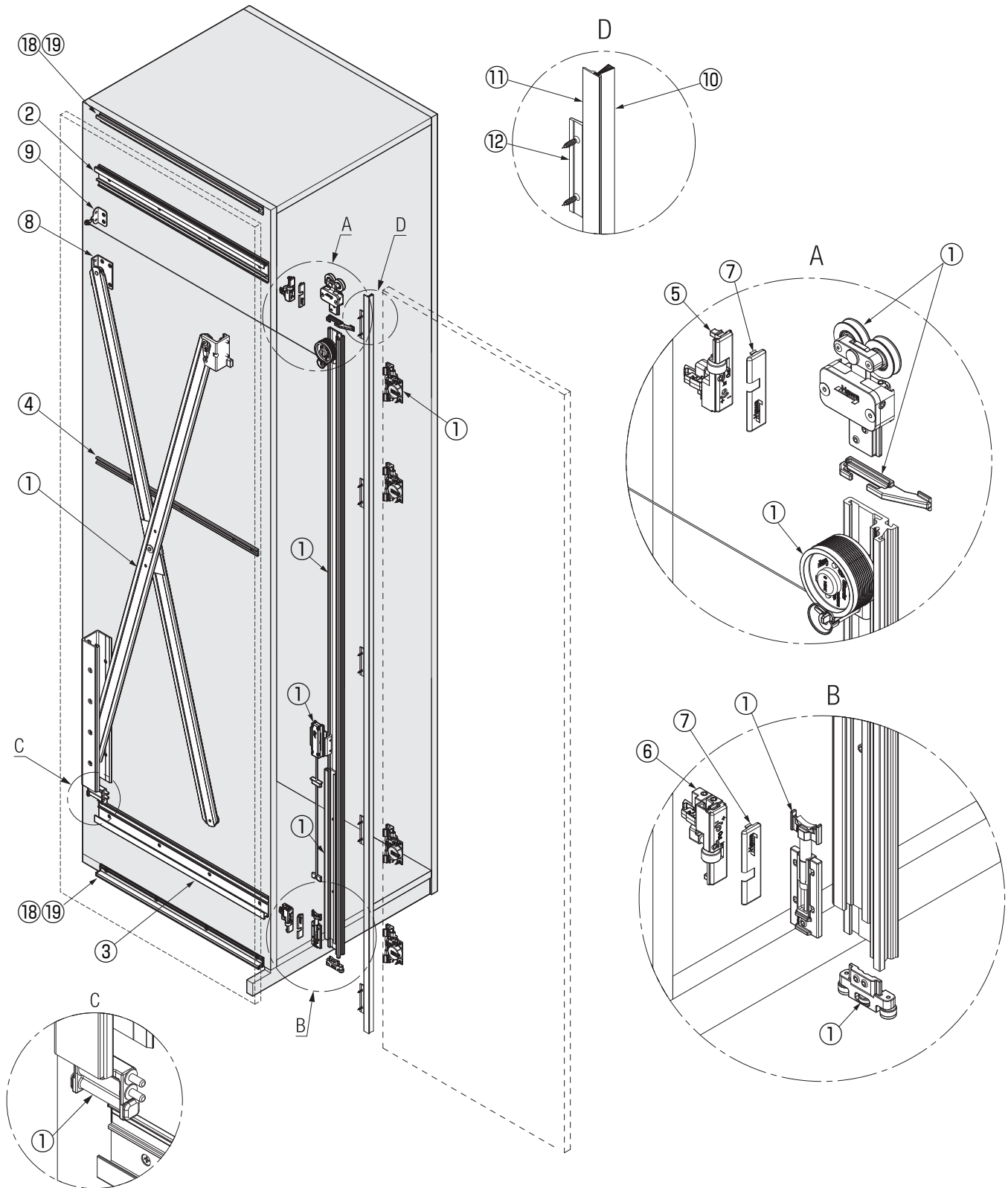
金物の取付基準面は、キャビネット前面です。
 奥行が浅いキャビネットに取り付ける場合（扉幅 > T）、
 扉の引き残し量 M は、大きくなります。

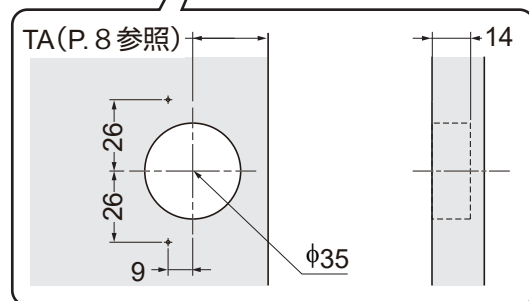
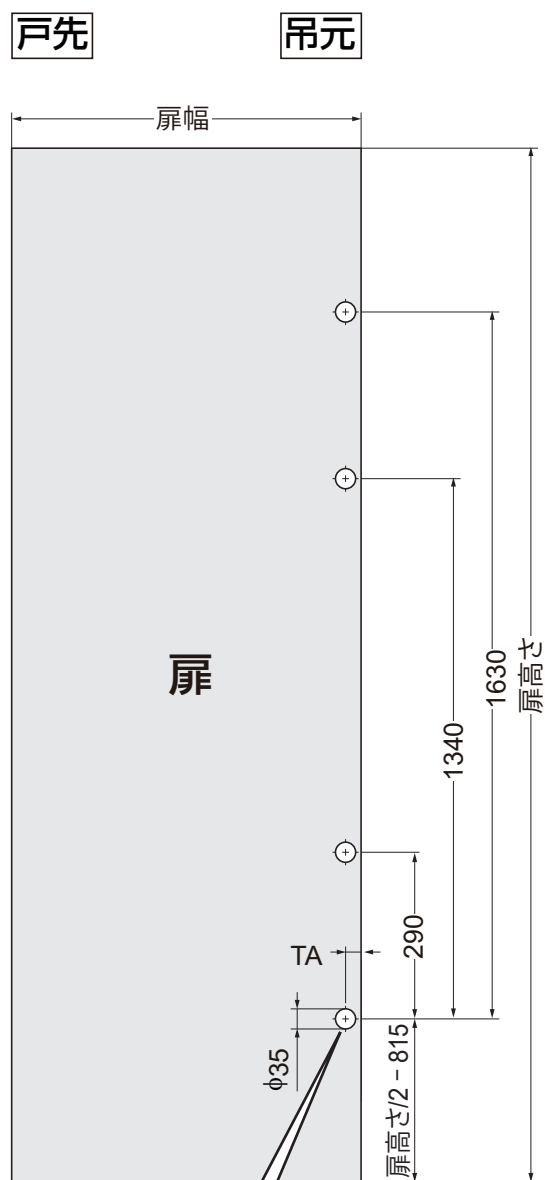
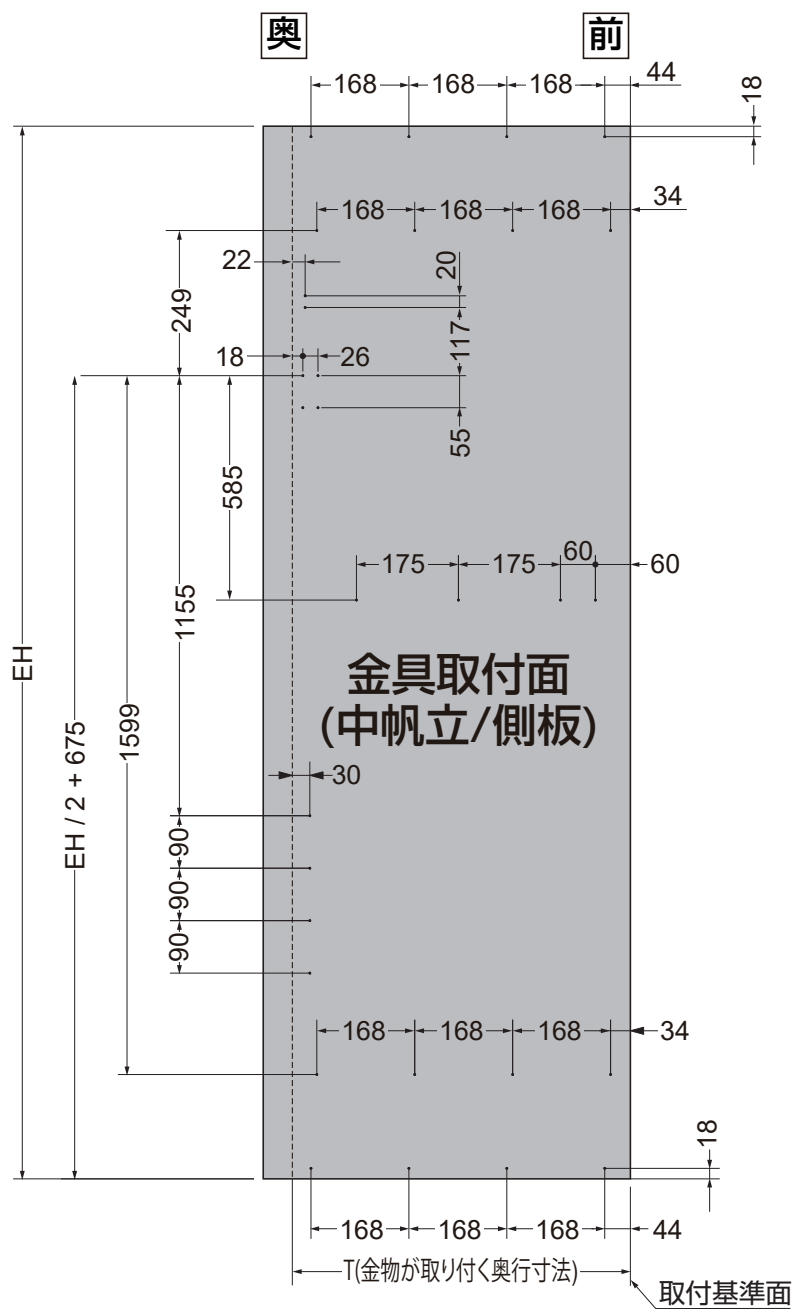
同じ大きさでも材料、構造により質量が異なりますので、おおよその目安としてください。
 それ以上、大きい扉にしたい場合は、表中の数字（kg）の質量以下になるようにしてください。

		扉 幅									
		300	350	400	450	500	550	600	650	700	750
扉高さ	2300	35	35	35	35	35	34	31	29	27	25
	2250	35	35	35	35	35	34	31	29	27	25
	2200	35	35	35	35	35	35	32	29	27	25
	2150	35	35	35	35	35	35	32	30	27	26
	2100	35	35	35	35	35	35	32	30	28	26
	2050	35	35	35	35	35	35	33	30	28	26
	2000	35	35	35	35	35	35	33	30	28	26
	1950	35	35	35	35	35	35	33	31	29	27

部品の取付位置

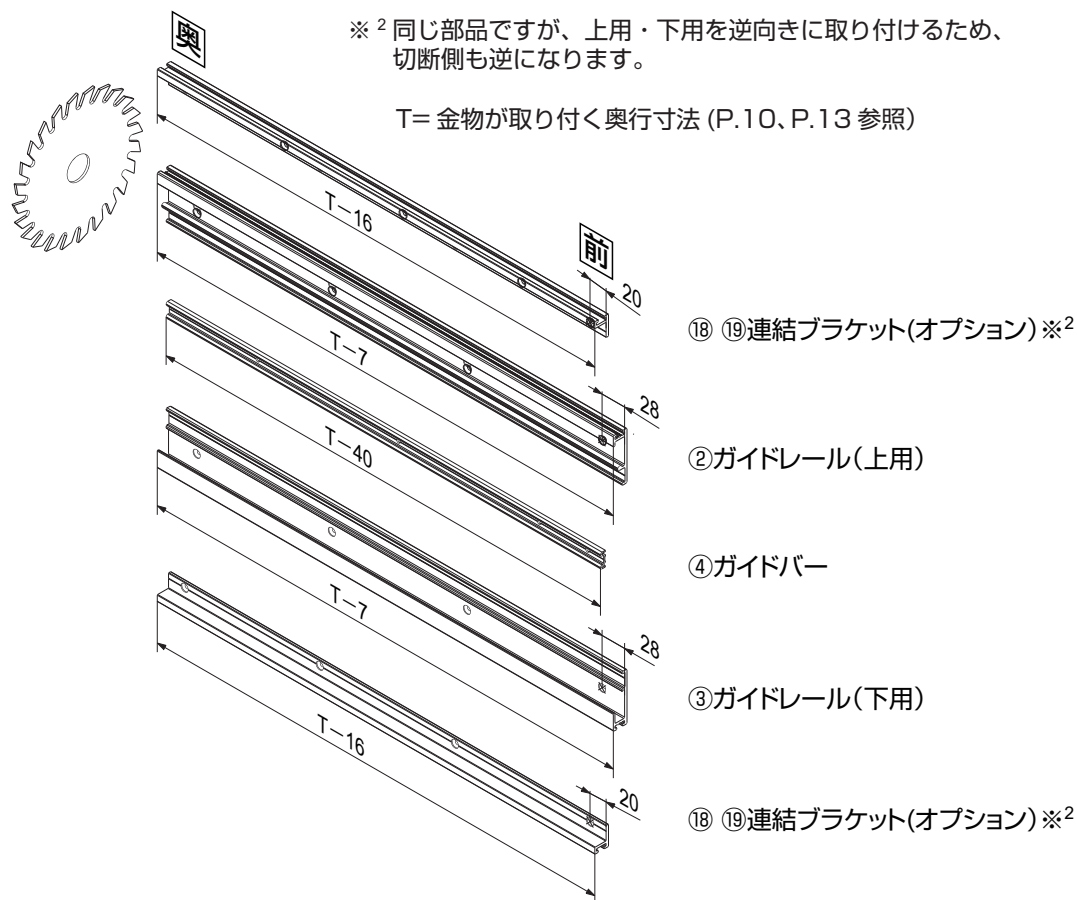
本図は左吊元仕様です。



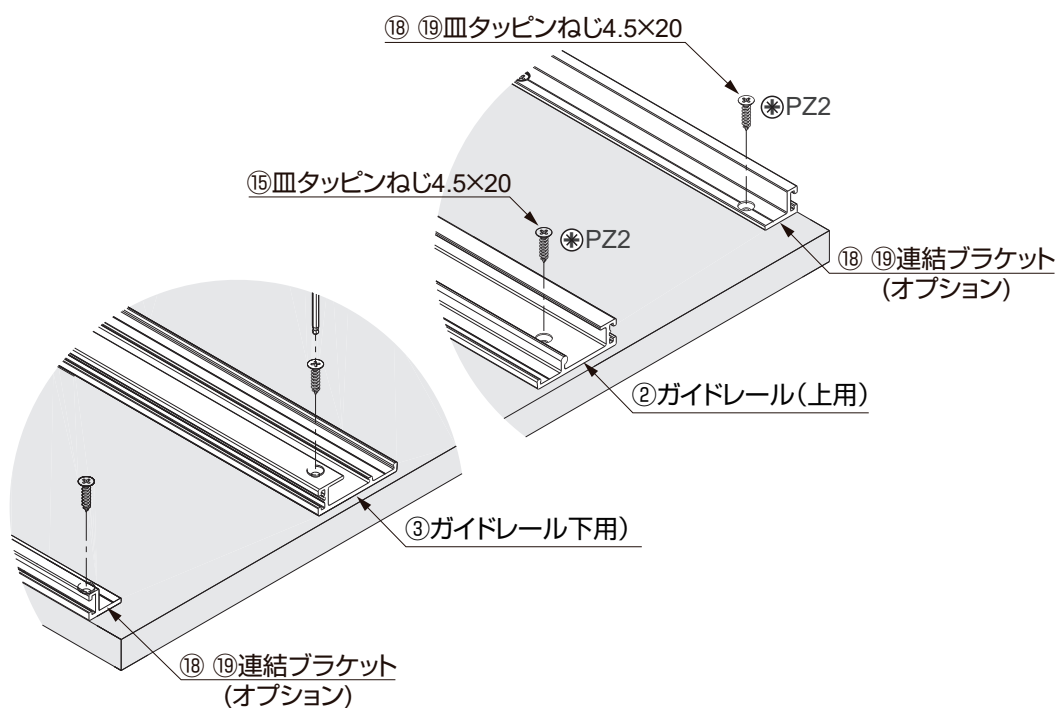


1 ガイドレール、ガイドバー、連結ブラケット（オプション）の加工

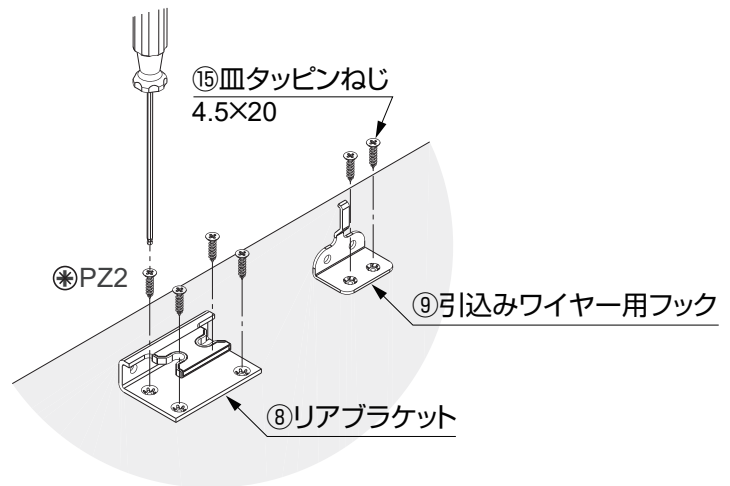
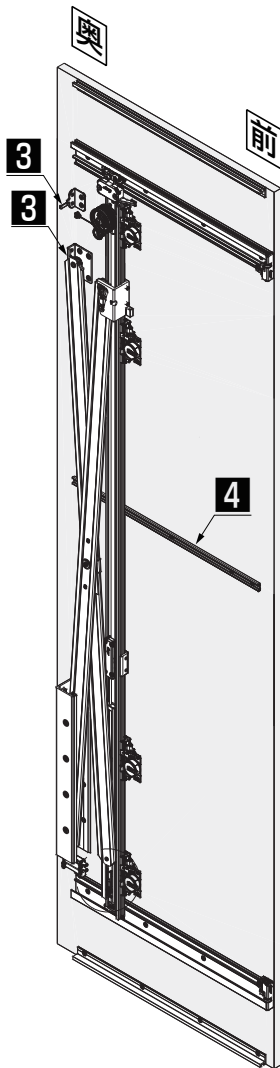
奥側を切ってください。前側の取付穴は取付位置に合うよう、加工されています。



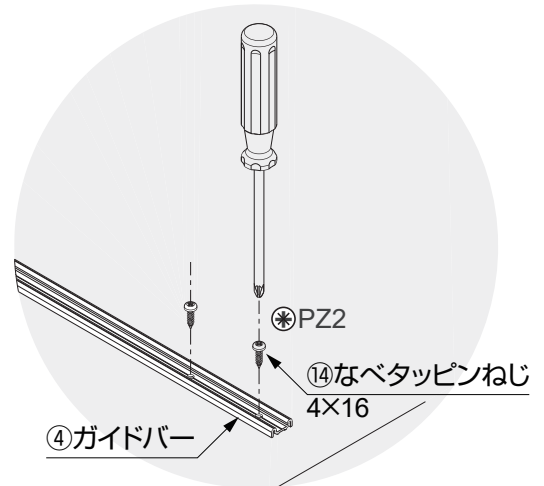
2 ガイドレール、連結ブラケット（オプション）を取り付ける



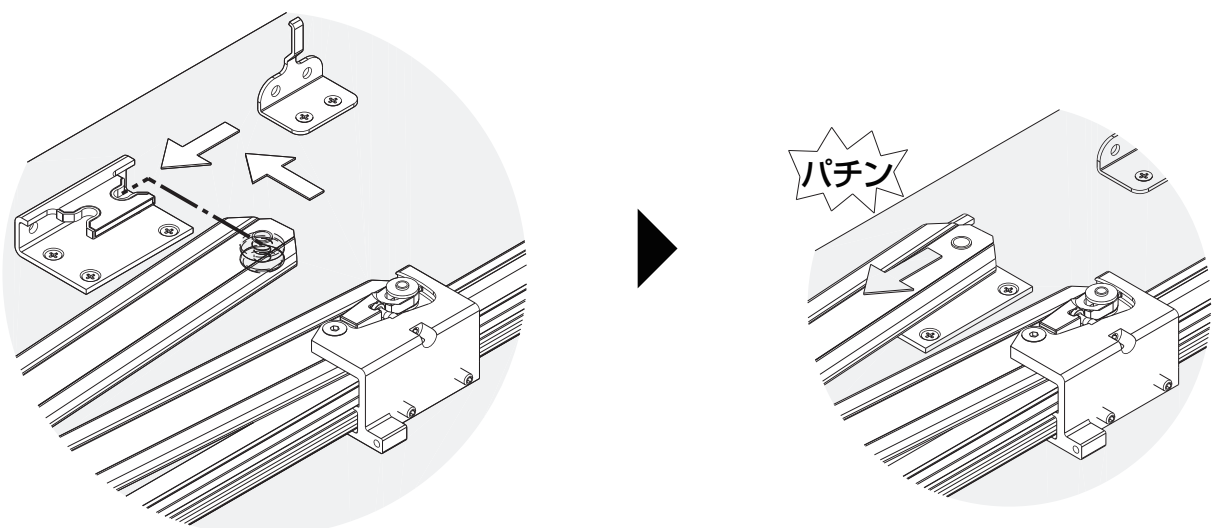
3 リアブラケット、引込みワイヤー用フックの取り付け



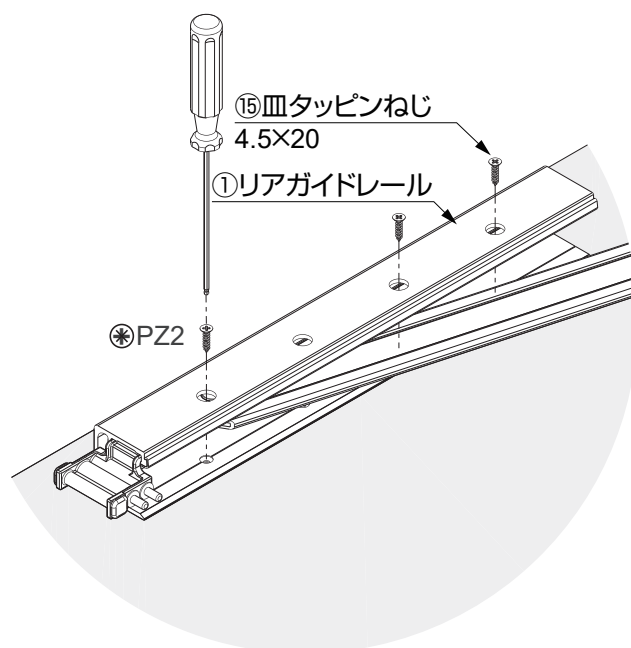
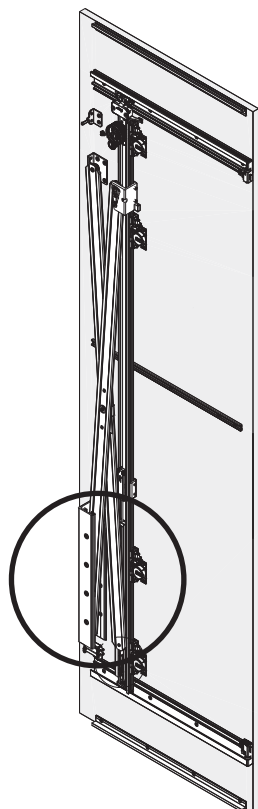
4 ガイドバーの取り付け



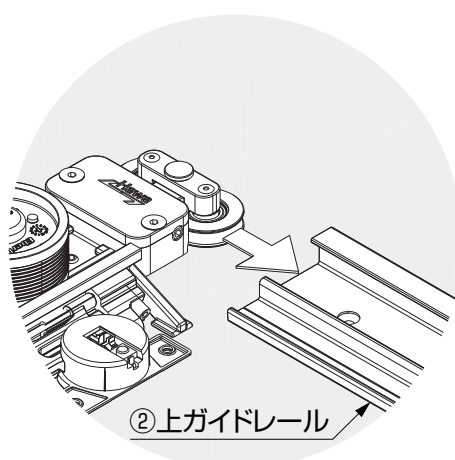
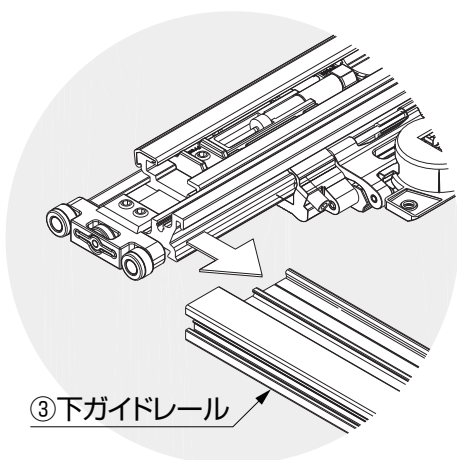
5 クロスアームの後上部をリアブラケットにしっかりはめ込む



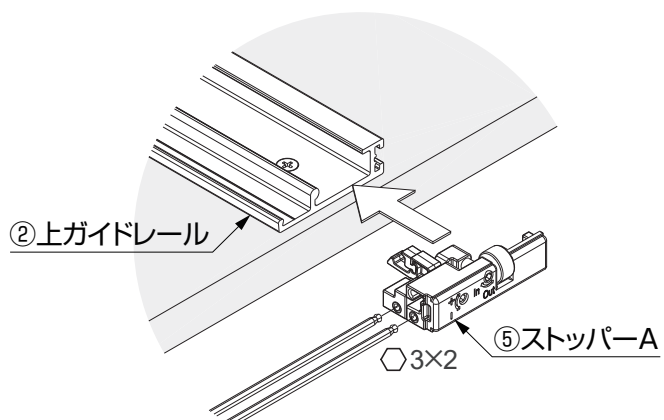
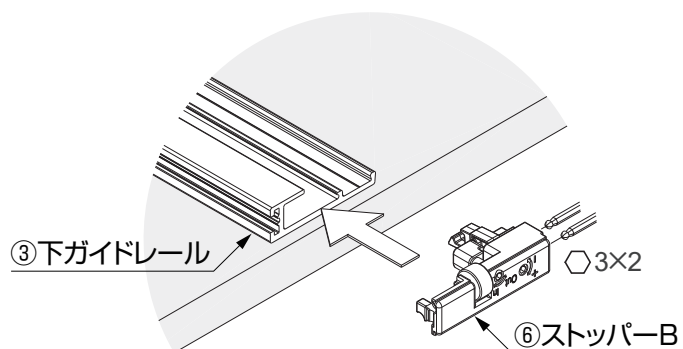
6 リアガイドレールを取り付ける



7 クロスアームを上下ガイドレールに挿入する



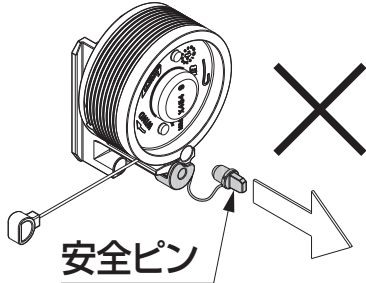
8 ストッパーを取り付ける



9 ワイヤーをかける

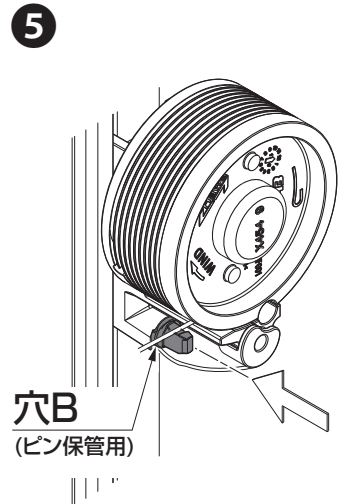
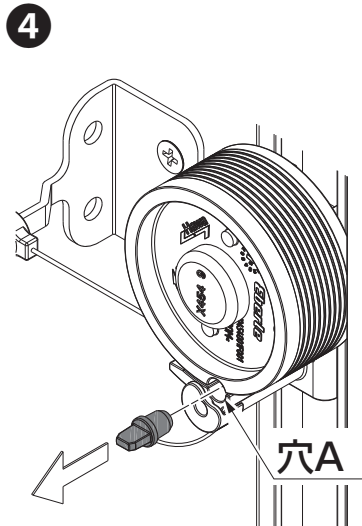
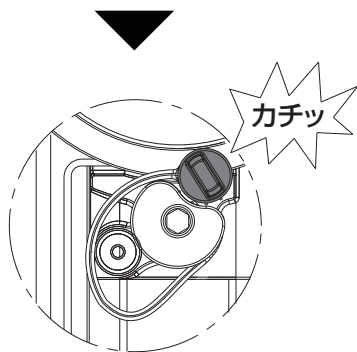
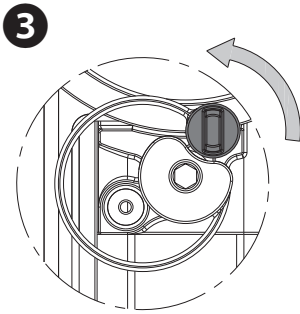
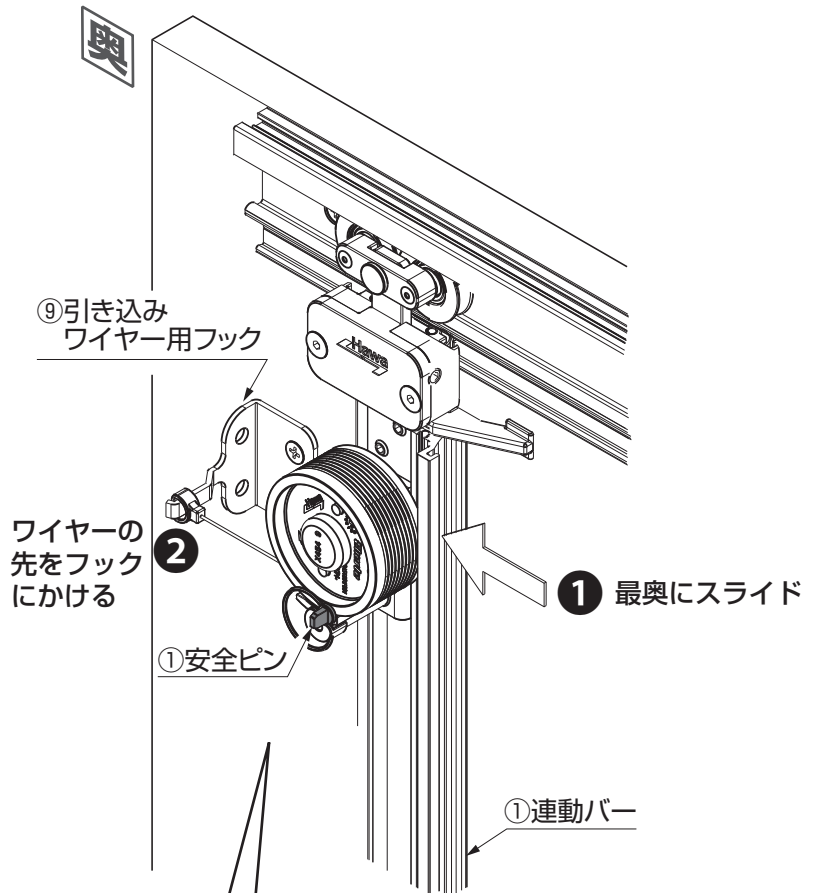
⚠ 注意

- ⊘ 安全ピンは④で指示するまで外さないでください。不用意に外すと、強い力でワイヤーを巻き取り、けがをしたり、部品が破損するおそれがあります。



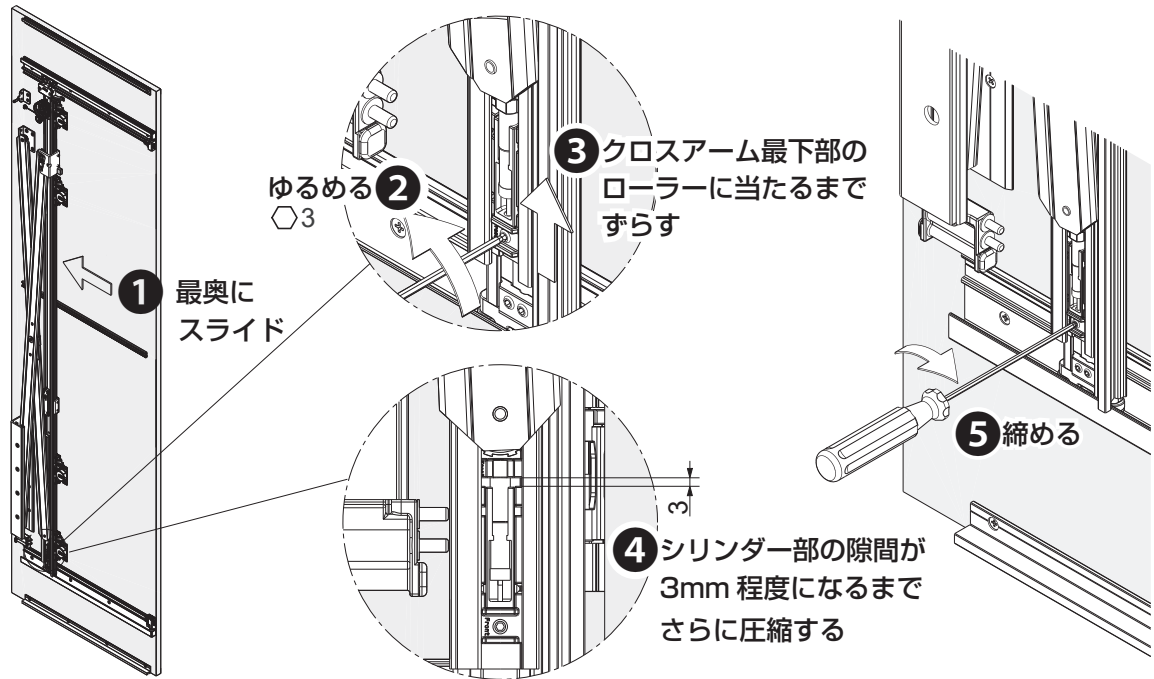
安全ピン

- ❗ ④で外した安全ピンは、メンテナンス等の理由で扉を外す際、ワイヤーを引き込まないようにするために使用します。保管用の穴Bに挿し、保管してください(⑤参照)。

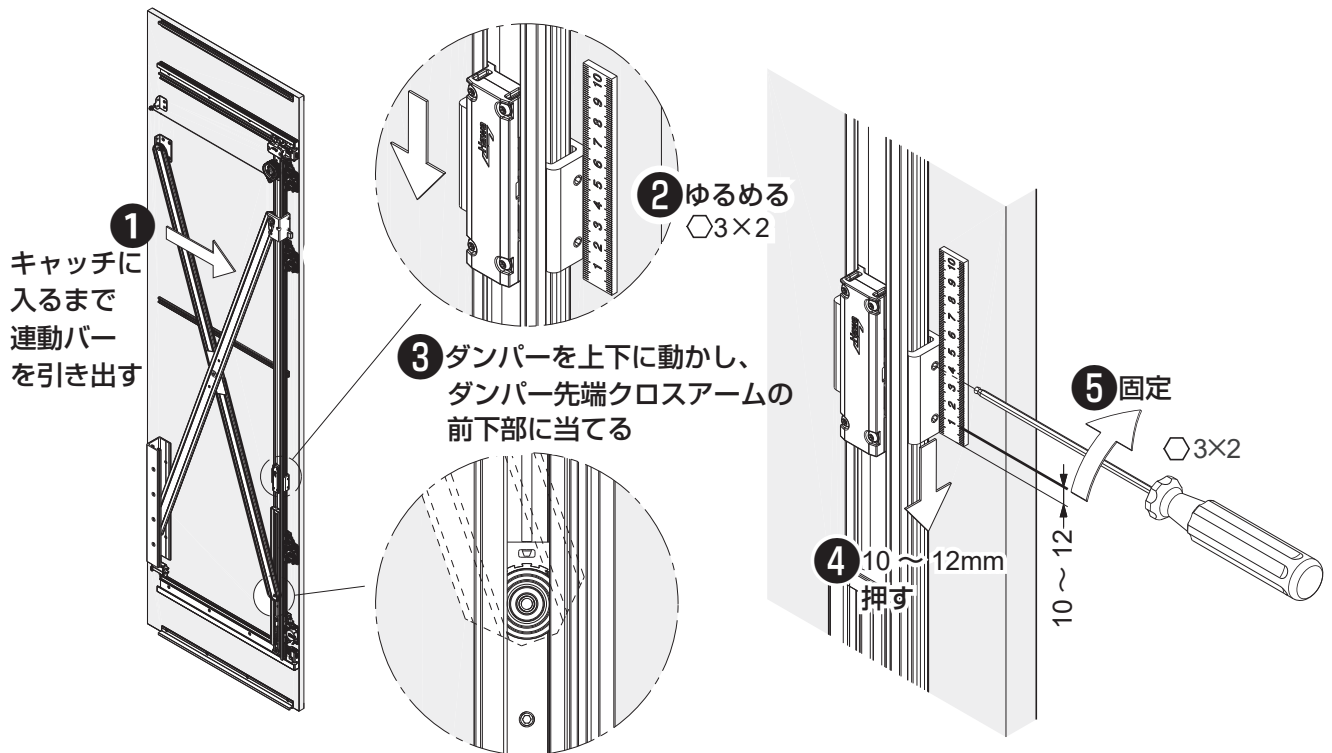


安全ピンの挿し込み場所と効果について
 穴Aに挿している:ワイヤーを引き込みません。
 穴Bに挿している:強い力でワイヤーを引き込みます。

10 引込みダンパーの位置を決める

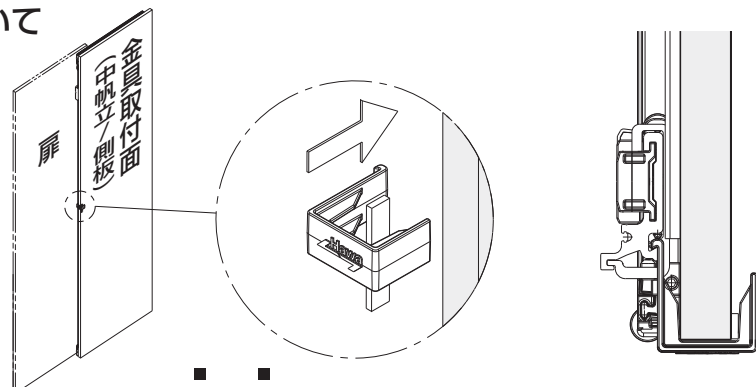


11 ダンパーの位置を決めて固定する



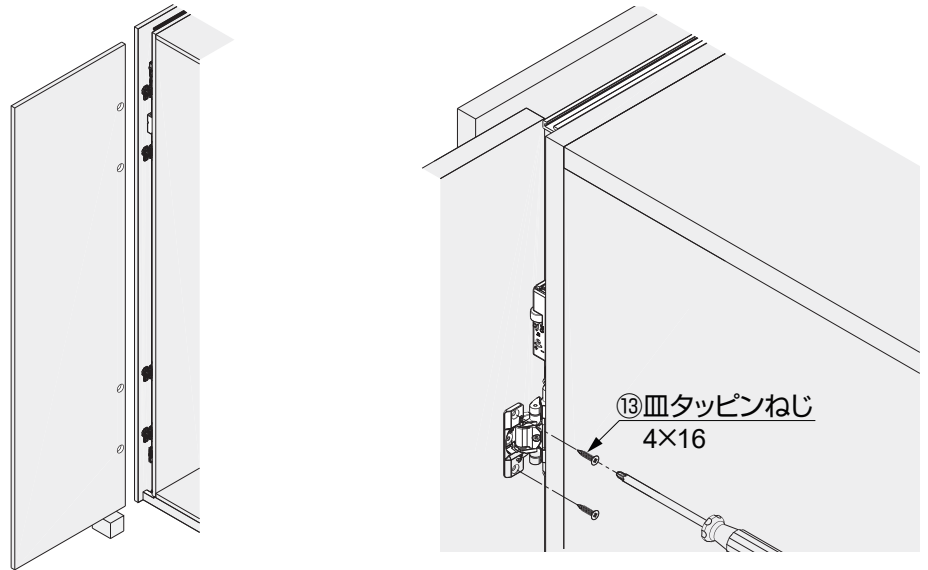
17 取付治具 (ストッパー) について

引込みワイヤーが、扉を納収スペースに引込むのを止めます。
金具取付面の木口部にはめ、連動バーに引っ掛けて使用してください。

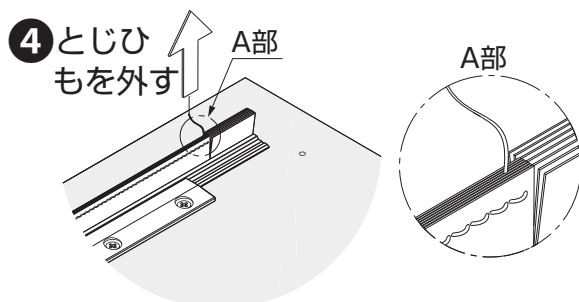
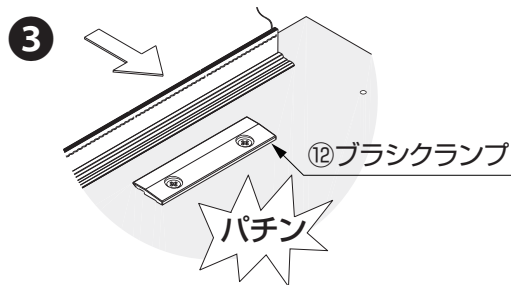
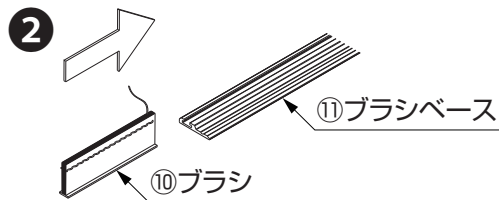
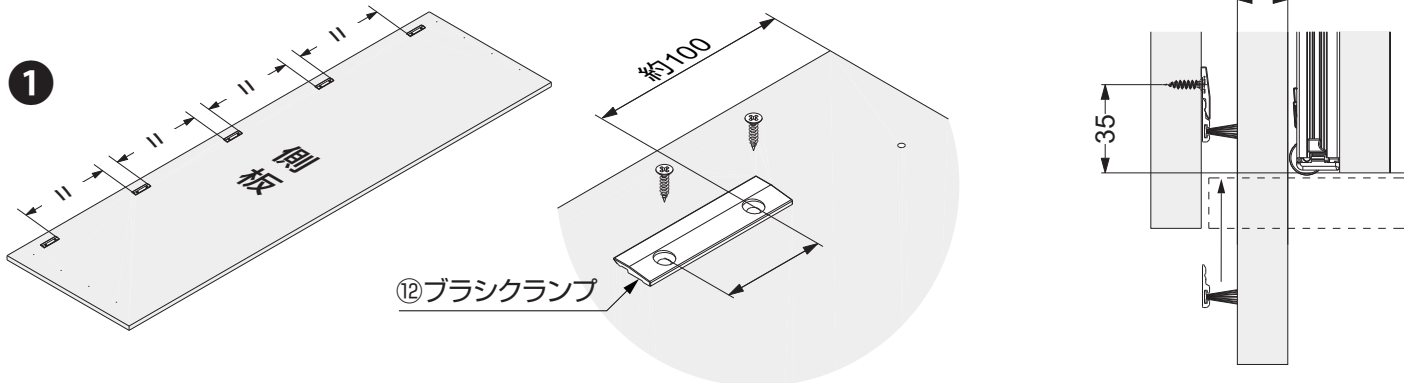


12 ソフトクローズヒンジを扉に取り付ける

①⑦取付治具（ストッパー）や養生テープで、連動バーを固定してから作業してください。



13 ブラシシールを取り付ける



14 中帆立をキャビネットに固定する

⚠ 注意

❗ メンテナンスに備えて、中帆立は取り外せる構造にしてください。

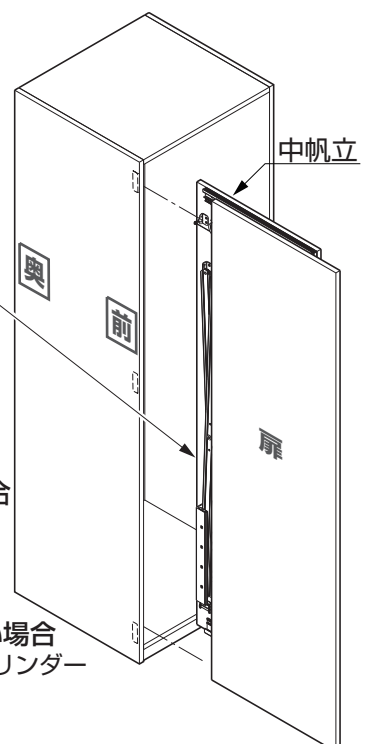
⚠ 注意

🚫 可動部分に触れないでください。指を挟むおそれがあります。

扉の引込具合の調整 (P.16 参照)

・扉が勢いよく引き込まれてしまう場合
→引込みダンパーの位置を上げて（シリンダー部の隙間を狭くして）固定する。

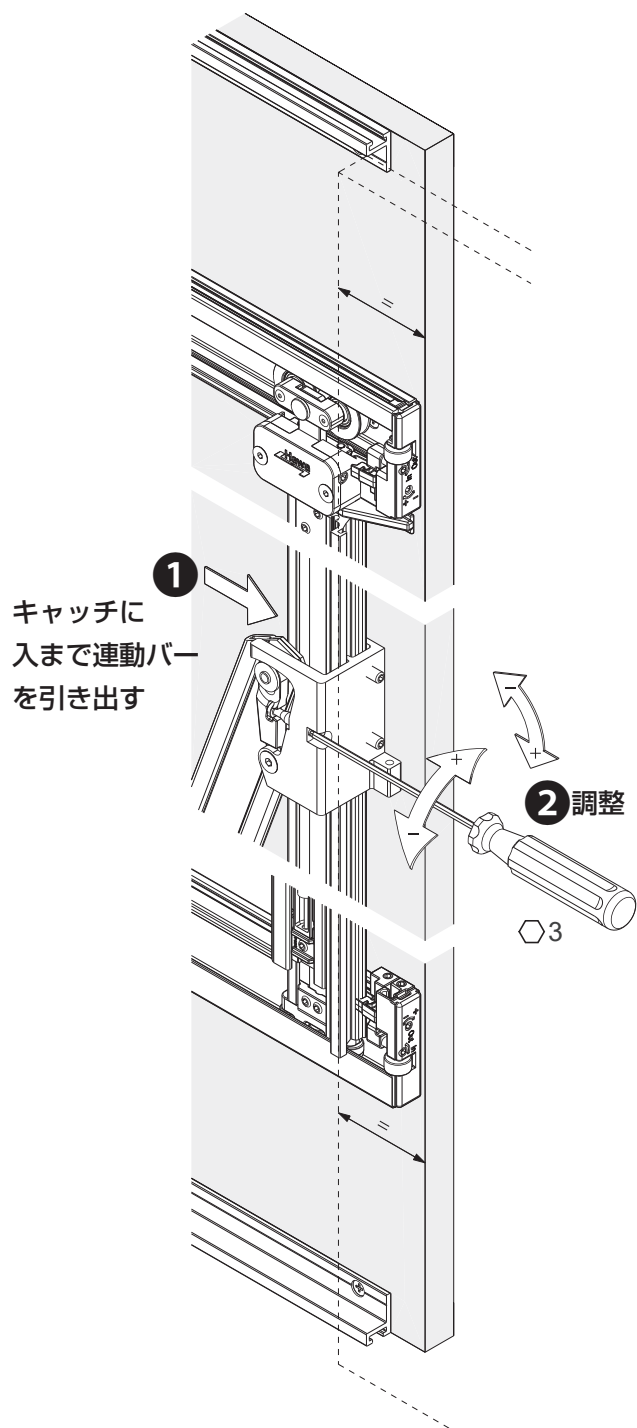
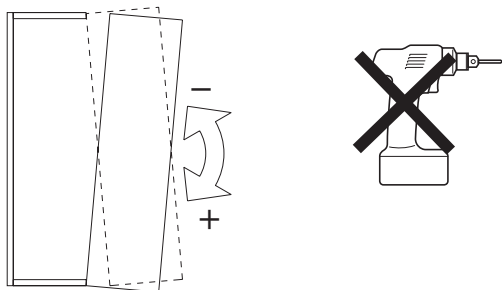
・扉がキャビネットに入りきらない場合
→引込みダンパーの位置を下げて（シリンダー部の隙間を広げて）固定する。



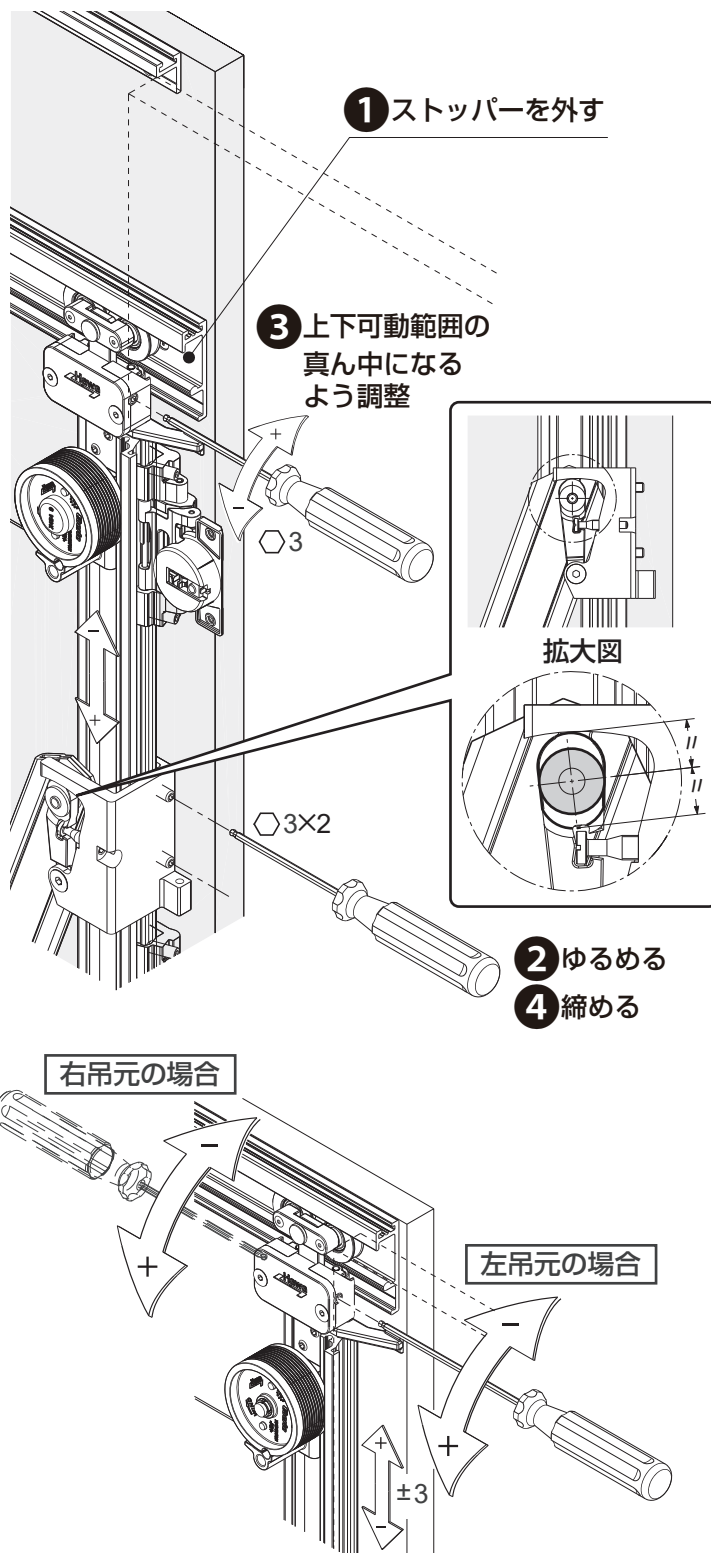
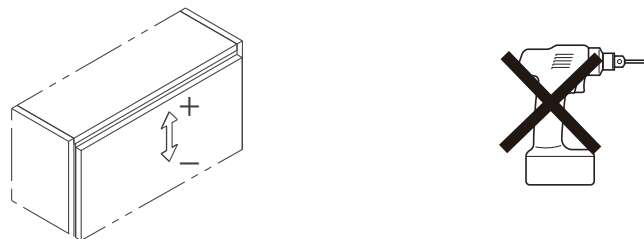
各部の調整

15 傾きの調整

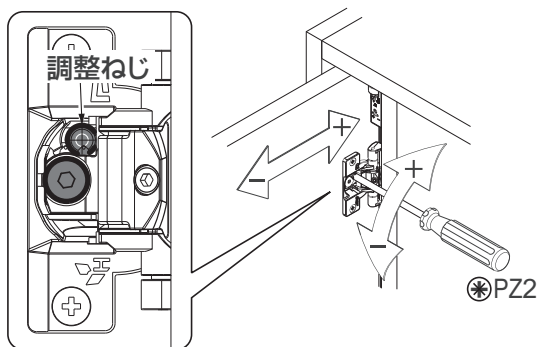
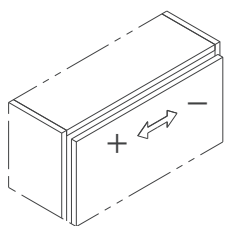
扉を引き出した際、連動バーが上下同時にキャッチするように調整します。



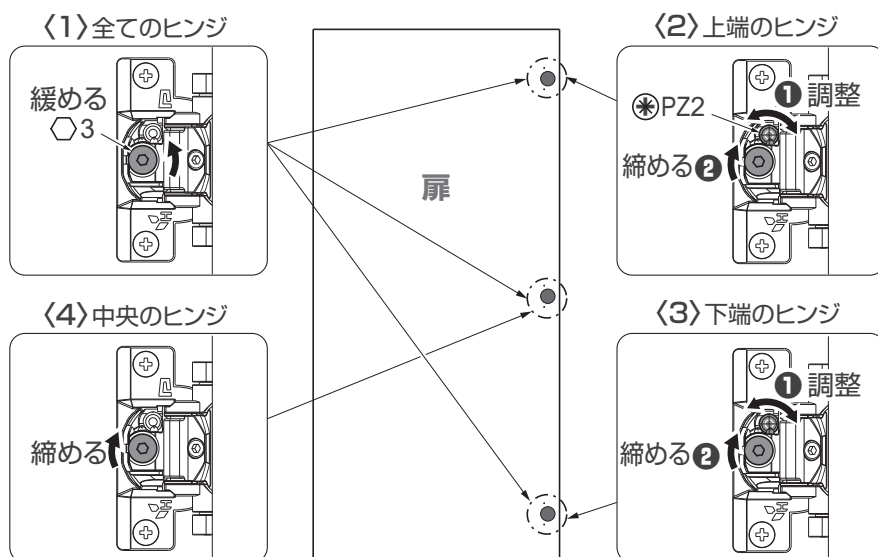
16 上下の調整



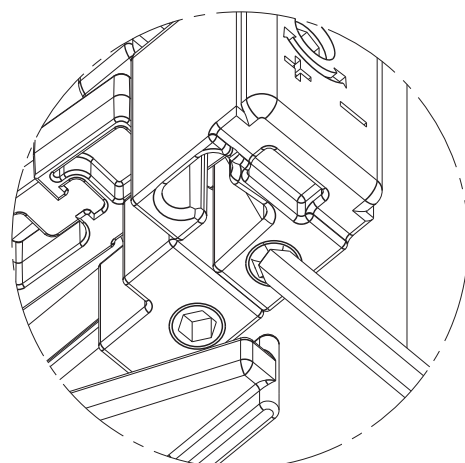
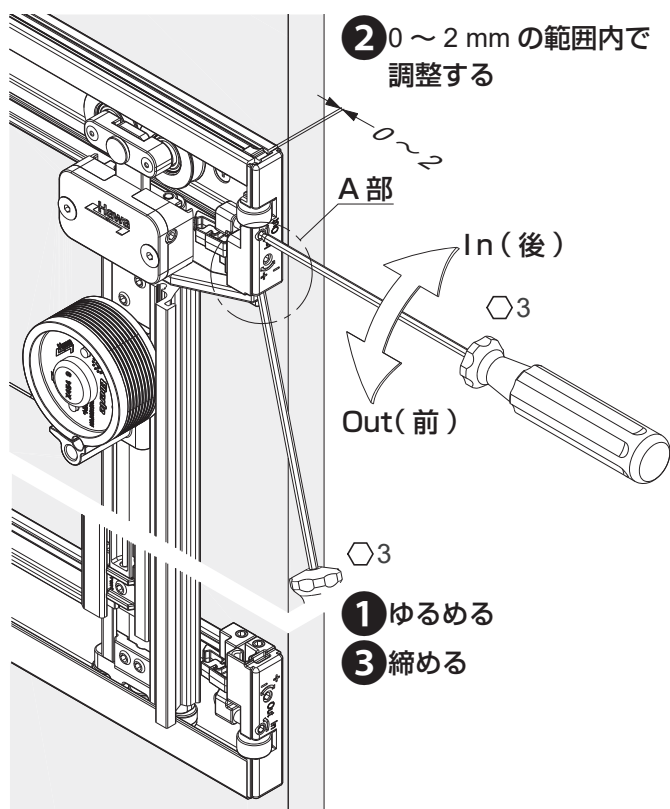
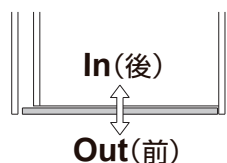
17 左右の調整



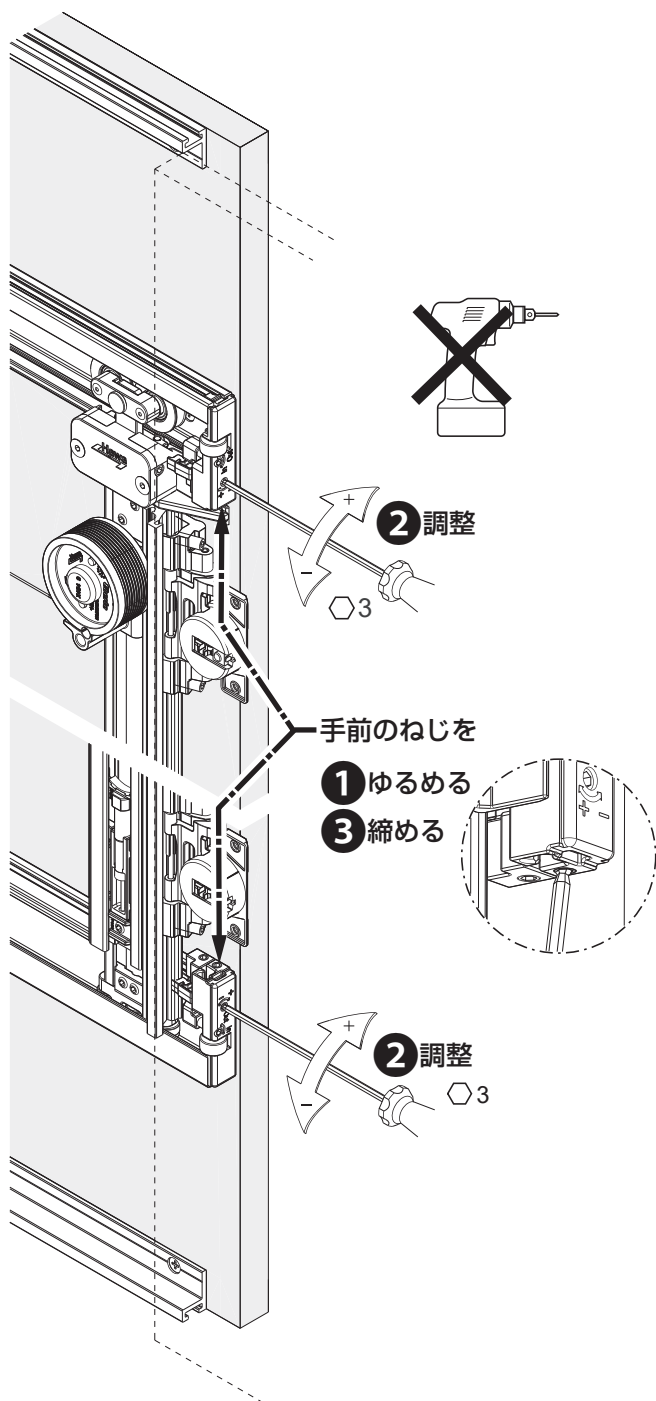
〈1〉～〈4〉の順で調整をしてください。



18 前後の調整

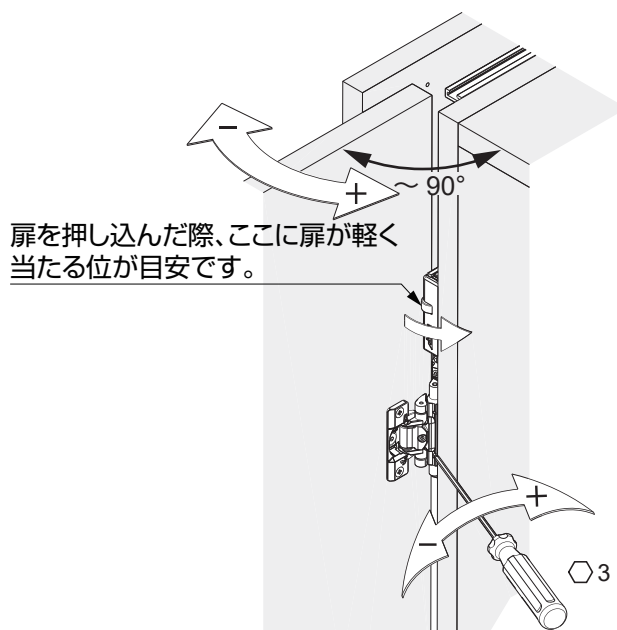


19 キャッチ力の調整



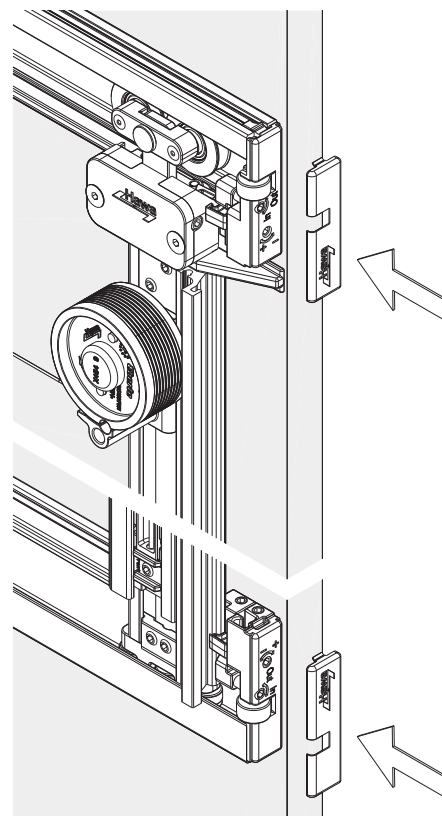
20 開き角度の調整

全てのヒンジを同じ調子に合せ、周囲に大きく干渉しないように調整してください。



21 カバープレートの取付け

上下のつめが変形して引っかけられなくなった場合、指で少し曲げ直してください。



本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2023.05 1577-1